

## 生徒の皆さんへ

皆さん、おはようございます。

新型コロナウイルス感染拡大を抑える上で非常に重大な局面にあることから、福島県においても、明日（4月21日）から5月6日まで一斉臨時休校となりました。

皆さんの中にも登校する上で電車やバスでうつらないだろうかと不安になったり、学校は大丈夫なのかと心配になった人もいたかと思います。その思いは我々教職員も同じです。皆で支え合い、協力しながら、感染拡大を抑える、出来る限りの対応を行いきましょう。

明日から休校となりますが、まずは不要不急の外出は避けてください。健康管理で一番大事なのは、規則正しい生活です。食事をしっかりとって、十分な睡眠と適度な運動を行い免疫力を高めていきましょう。ウイルスを避ける工夫とウイルスに負けない身体作りが大事です。

テレビ・新聞の報道から、治療薬もまだ開発されておらず、世界各国の感染拡大の状況を目の当たりにするととても安心できる状況にはなく、まだまだ予断を許さない事態であることは確かです。しかし、一方で過度に不安を喚起するような情報もあるのも確かです。特にネットからの情報には踊らされないで下さい。コロナ感染者は殺人鬼に見えるというような発言をする政治家もいます。コロナ感染者は被害者であり加害者ではありません。これは差別です。差別を許してはいけません。もしかしたら、皆さんの身近な友人や家族が感染するかもしれません。だれも好きこのんで感染した訳ではありません。

『不安』は、人から考える力を奪っていきます。

『不安』は、人から行動する力を奪ってしまいます。

目に見えないのでウイルスがそこここにおいて、なす術もなく自分や家族がかかってしまうのではないかと不安になるかもしれません。しかし、事実はその通りではありません。たとえ新型コロナウイルスがそこここにおいて、私たちはそれを避ける術をもう身につけています。

手洗いをする、うがいをする、人混みに行かない（人との距離をとる）、マスクをする（ウイルスのついた手で顔を触らない）、消毒をするなどを徹底することで、新型コロナウイルスは移らないということです。

『不安な感情』は人の認知（物事を捉える力）を鈍らせます。

遠くの世界を見て不安になるのではなく、今日、今、この瞬間にできることを丁寧にやっていきましょう。『今』の連続が未来につながって行きます。

今、起きている不安感やコロナウイルス以上に不安というウイルスが蔓延しているとも言えるのです。

現在のこの新型コロナウイルス感染拡大の状況は、9年前の震災・原発事故を思い出させます。我々は余震や放射能の影響など不安な日々を苛立ちながらも、元気を出して精一杯生き、今の福島を切り拓いてきました。

コロナウイルスに感染した人は被害者であり感染者を中傷することは許されません。我々は決して差別しないと誓う。そして、力を合わせ元気を出して今を精一杯生き、この難局を乗り越え、郡高生として福島の未来を切り拓いていきましょう。

学校長より